

Project プロジェクト

上半期
発行号

放射線タウン情報

2019.9.1 発行 No.23

【編集発行】

南相馬市健康づくり課

☎ 0244-44-2121



梵天大滝から見る 山の空間線量率

南相馬市鹿島区上栃窪に位置する梵天大滝の様子

現在福島県内では、南相馬市を含む14市町村で、復興庁、林野庁、環境省の3省庁による里山再生モデル事業が進められています。

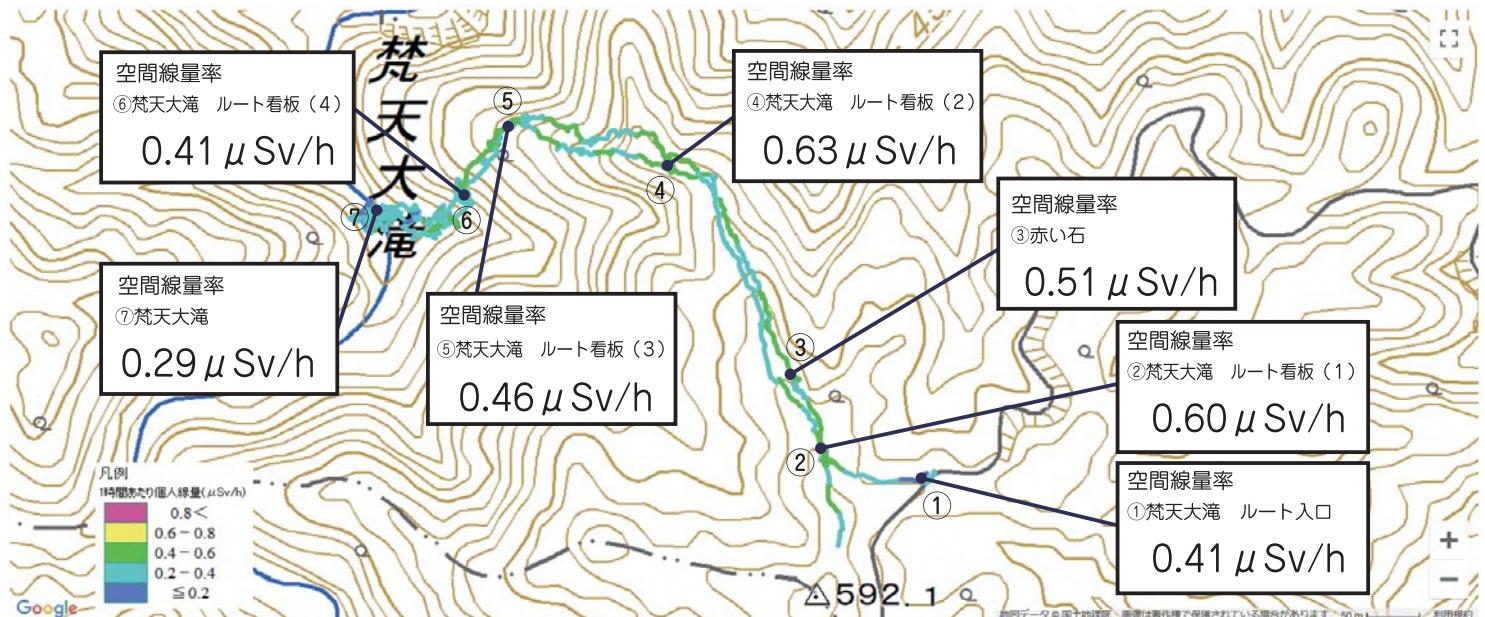
市では、かつて市民が気軽に散策や季節ごとに咲く花の観賞などで親しんできた国見山森林公园が、令和2年度末を目指して整備される予定です。そこで、今回は同じ南相馬市内にある山林中の空間線量率について調査してみました。

目指すは梵天大滝！

南相馬市の山林中の空間線量率を測定するモデルコースとして、鹿島区上栃窪地区に位置する「梵天大滝」までの道程を調査してみました。梵天大滝は、落差30m程もある美しい滝で、そこに至るまでの道程は、かつて、歯ごたえのあるトレッキングコースとして親しまれてきました。しかし、東日本大震災以降は、ほとんど誰も足を踏み入れることはなく、平成28年度に福島県消防防災航空隊と相馬地方広域消防本部との合同訓練地として利用されましたが、一般的に好んで行く場所ではなくなっているのが現状です。

そこで、環境省からの委託を受け、県内各市町村の自治体職員や相談員等の支援を行っている「放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター（受託者：公益財団法人原子力安全研究協会）」に協力してもらい、梵天大滝登山ルートの歩行サーベイを実行しました。

南相馬市 梵天大滝登山道入口～梵天大滝までの往復の空間線量率



出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」をもとに公益財団法人原子力安全研究協会が加工
本資料は、環境省「平成31年度放射線健康管理・健康不安対策事業」により公益財団法人原子力安全研究協会がとりまとめました。

【測定日】2019年7月19日（金）

【空間線量測定】NaIシンチレーションサーベイメーター

・最大値 $0.63 \mu\text{Sv/h}$ (梵天大滝ルート看板②)

【測定期間】10時17分～13時45分

・最小値 $0.29 \mu\text{Sv/h}$ (梵天大滝)

【天気】くもり

【個人線量計】DOSE e nano

・往路 $0.372 \mu\text{Sv}$ ($0.33 \mu\text{Sv/h}$) ※登山道入り口～梵天大滝

・復路 $0.577 \mu\text{Sv}$ ($0.36 \mu\text{Sv/h}$) ※梵天大滝～登山道入り口

・積算値 $1.121 \mu\text{Sv}$ ($0.32 \mu\text{Sv/h}$) ※登山道入り口～梵天大滝～登山道入り口 (途中休憩含む)



登山の様子



線量計による測定の様子



梵天大滝の様子

登山道入口～梵天大滝までの所要時間は約1時間30分で、ルート上の場の線量の平均値は約 $0.32 \mu\text{Sv/h}$ という結果でした。往復の場合、所要時間約3時間30分に対し、場の線量の積算値は $1.121 \mu\text{Sv}$ でした（途中休憩含む）。

※「場の線量」は、自然放射線も含む空間線量率の合計値です。

※所要時間はあくまでも健脚の人が歩いた場合の参考値です。

※現在、梵天大滝までの道程は整備されておらず**大変危険**ですので、散策地として推奨しません。

今回は、あえて除染を行っていない場所の調査を行いましたが、調査結果からも分かるように、山林の空間線量率も経年による自然減衰でかなり落ち着いた数値となっているようです。

今後、里山再生モデル事業を進めている国見山森林公园に関しては、市民の方々が散策できるよう、歩道の除染、除染後の空間線量マップ、公園施設の整備が行われ、かつてのように楽しい時間を過ごせる憩いの場所として蘇ることが期待されます。